

# シェア・インターナショナル ニュース

## “出現”の徴、頻度と数が増加する

あらゆる人々、—— 信仰を持つ人も持たない人も —— に現れた奇跡現象がほとんど毎日のように世界中で報告されている。シェア・インターナショナル誌はこれらの現象を何年にもわたって掲載してきた。懐疑的な世界はこれらの出来事をそれぞれ別個の出来事として見、関連付けて考えることも、その背後にある意味や理由について疑問を呈することもなかった。

本誌編集長ベンジャミン・クレームは、これらの奇跡現象はすべて同じ源から来るものであり、一つの目的、すなわち世界教師マイトレーヤと彼のグループである智恵の大師方の出現の徴として現れていると説明する。ベンジャミン・クレームは毎月、智恵の大師（覚者）の一人から記事を受け取っている。2006年4月に発表された記事には次のような述べられている。

「涙をながしたり、動いたりする様々な彫像から、世界中で見られる建物全面を飾る光のパターン、輝く光の十字架、ミルクを飲むヒンズー教の神々の像に至るまで、徴は限りなくある。それらの不思議な出来事に心を動かされない人々はほとんどいない。もちろん疑い深い人々や懐疑的な人々はいつの世にもいる。しかし、それも長いことではない。非常に間もなく、期待の風潮は高まり、至るところにいる人間の心（ハートとマインド）にしっかりと記録されるだろう。そしてその期待に満ちた風潮の中にマイトレーヤはお出ましになり、彼の使命を公に始められるだろう」

最近世界のメディアが報道した驚くべき奇跡のいくつかをここで紹介する。ベンジャミン・クレームによれば、これらの奇跡は世界教師マイトレーヤと彼のグループである智恵の大師方によって現されたものである。

### ■ 問い合わせ先 ■

#### Share International

PO.Box 3677, London.NW5 1RU.  
Tel.020-7482 1113; Fax.020-7267 2881  
<http://www.share-international.org>

#### シェア・ジャパン

〒194-8691 町田郵便局内・私書箱16号  
Tel/Fax. 042-799-2915  
<http://www.sharejapan.org/bcworks/>

## ネパールの少女が額からガラス片を出す



photo:Janak Nepal

西ネパール、チカプールの12歳の学生サリタ・ビスタさんの額から不思議にもガラス片がでてきている。2006年1月以来すでに130個のかけらが出てきた。8月7日からはこの途方もない出来事が毎日続いている。ガラス片は平均で長さ3.8センチ、幅1.5センチあり、一日に12個も出てくることもある。

「最初は額に引っかき傷のようなものがありました。それを擦ってみると、ガラス片がでてきたのです」と少女の母ダンサラさんは語る。「娘は痛みは感じませんが、ガラス片がでてくる時、時には気を失うこともあります。少し血がにじむことはありますが、傷はすぐに癒えます」。家族はサリタさんが心身共に健康で、いかなる事故にもあったことはない、と断言している。

ネパールの医学界はこの現象を調査しているが、その中にはコハラプール医学大学やネパールグンジ教育病院（NTH）の教授や医師のチームも入っている。CTスキャンや血液検査にもかかわらず、説明できる材料はない。「光ったガラス片のようなものが額の皮膚から出てきているのを見ることができる。しかし頭蓋にはガラスは見当たらない」と、NTHの副理事長ジテンドラ・マハセス博士は語った。同僚のケドワイ博士はそれを、「奇妙な症例」と言った。頭蓋が不自然に成長したことで角が生えたように見える例は数多く報告されているが、人間の体はガラスを作り出すことはない。

1996年にも同じようなことが12歳のレバノンの少女、ハスナ・モハメド・メセルマニさんに起こった。彼女は、紙を切ることさえできるほど鋭いかみそりの刃のような水晶を目から出したのだ。

